

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 令和元年9月10日（火）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 鯉渕教育長 大場委員 間野委員 宮内委員 中村委員 森委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

令和元年9月10日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
第7回アフリカ開発会議（TICAD7）横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について
いじめ防止対策推進法第28条第1項にかかる重大事態への対処について
- 3 審議案件
教委第23号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について
教委第24号議案 教職員の人事について
- 4 その他

鯉淵教育長

それでは、ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認を行います。8月1日の会議録の署名者は大場委員と宮内委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉淵教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、8月23日の教育委員会臨時会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小椋教育次長

【一般報告】

1 市会関係

- 9/3 本会議（第1日） 議案上程・質疑・付託
- 9/6 本会議（第2日） 一般質問

教育次長の小椋です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、9月3日に本会議第1日目が開催され、議案上程・質疑・付託が行われました。

9月6日に本会議第2日目が開催され、一般質問が行われました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 8/27～30 令和元年度「横浜子ども会議」区交流会

(2) 報告事項

- 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について
- いじめ防止対策推進法第28条第1項にかかる重大事態への対処について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、8月27日から30日までの間、令和元年度「横浜子ども会議」区交流会が18区全区で開催されました。8月27日には鶴見区に鯉淵教育長、中村委員が、8月28日には南区に大場委員が、8月30日には港南区に森委員が出席しております。

次に、報告事項として、この後、所管課から2点、報告させていただきます。まず1点目ですが、第7回アフリカ開発会議横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について、次に2点目ですが、いじめ防止対策推進法第28条第1項にかかる重大事態への対処について、報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

鯉淵教育長

報告が終了いたしました。何か御感想、御意見、御質問等はございますか。

大場委員

私は横浜子ども会議の8月28日の南区の会議に行かせていただいたので、その感想だけ申し上げたいと思います。去年も私は南区の会議に出させていただいて、別に失礼ながら定点観測しようという思いではありませんが、たまたま日程上南区へ2年続けて行くことになりました。去年に比べて小中学校のブロック間を超えた意見交換が非常に活発で、これが大きな特色として感じられました。また、今回はSNSの功罪ということをお子供たち自身が学校で考え、子ども会議で議論をしてくださいました。印象的なのは一般的によく言われるとおり、保護者にスマートフォンの使い方について一定のブレーキをかけてもらう方法がいいのではないかという至極当たり前の意見が出た一方で、逆にその意見に対して、自分は今、反抗期にあるので、親の保護下でスマートフォンを使うのは嫌だというような生々しい具体の意見が出て、まさに異なる意見を活発に交わしてくれていたのが非常に印象的でした。

それから、通常は小学校6年生と中学校3年生が出てきますが、来年のためにということで南区が意識して、5年生や中2の人たちも、傍聴席ではありませんけれども、そこからもいろいろ意見を言ってもらえる場面設定をしてくれたりということで、随分運営面で工夫がされたし、生の意見が活発に出るような仕組みを作ってくれたことは非常に良かったなと思っています。私からは以上です。感想です。

鯉淵教育長

ほかに何かございますか。

中村委員

私も感想になりますが、子ども会議に出させていただきました。今まで緑区、中区と出させていただきましたので、今回は学校数の多い鶴見区に出させていただきました。誰にとっても安心して、誰にとっても居心地の良い学校を作るためにという昨年度と同じテーマで行われました。本当にこの会議のためにということではなく、自分たちが今まで継続してきた活動についての発表があったのですが、その中で、自分の学校にただ1人だけ外国につながる生徒がいるのだけれども、やはり言葉も通じないし、授業も分からないし、いつも孤立している。自分は言葉が日本語以外話せないの、なかなか関係作りができなかったのだけれども、これでは誰にとっても居場所がある学校ではないなということで、言葉は通じないけれどもということで、子供らしく変顔をして見せたらその子が笑ってくれたといいます。それをきっかけにして、通じないながらも身振り手振りをしながら、その子にとっても居場所のある学校にしたいなというようなことをみんなで考え始めたという報告ですとか、それから、例えばどこの学校も挨拶運動をやっていますが、今までやっているから継続して挨拶をやるということではなく、挨拶運動をやる目的は何だろうかとか、あるいは何のためにということ達成するにはどういう方法がいいのだろうか、そしてそれをすることによって自分たちがどうなりたいのかということで、目的とか方法とかなりたい姿というのを明確にしてそういう運動をやるんだという発表をしている学校がとても多く、印象に残りました。

鶴見区の場合は、小中ブロックだけではなく、横浜サイエンスフロンティア高校ですとか東高校も参加しました。最初、ブロックごとに打ち合わせをしているときに、高校生がグループの間を回ってアドバイスをしたり、高校生だけでプレゼンテーションをしたり、最後には指導主事の方とか校長先生方がまとめをすることが多いですけども、サイエンスフロンティア高校の学生と東高校の学生がまとめをしてくれました。先生とか指導主事の方がしてくれるのも印象に残りますが、子供たちにとってはやはり身近な高校生が話をしてくれるということで、

とてもいい、自分たちもこうなりたいなというモデルが目の前にあって良かったなと思いました。

今、新学期が始まって、本当に痛ましいニュースが続いてとても心が痛みますけれども、地道な活動で、これをしたからすぐいじめがなくなるというものではないと思いますけれども、子供たちが真剣に考えて、まず自分たちの学校から、まず自分のクラスや学年から何とかしていきたいと考えている、そういうことの積み重ねがだんだんという方向に向かっていってくれるといいなと感じさせられるような子ども会議でした。以上です。

鯉淵教育長

ほかに。

森委員

森です。私は港南区に行きました。昨年に続いて2回目ですけれども、気付いたこととしては2つございまして、1つは子供たちの発表の仕方ということと、2つ目は内容についてです。人に伝えるということは、日頃の教育の中で学校の先生方がいろいろと工夫されていることが伝わってきました。例えば、模造紙を使った発表のみならず、映像とか動画を作りながら発表しているグループもあって、どうしたらより伝わるだろうかということ各学校がそれぞれに工夫しているということが、今回はとても印象に残りました。

あと内容としましては、まず一つとして、「誰もが」とか「居心地の良い」という一つ一つの言葉というのはどこまで指すのだろうかとか、何を指すのだろうかということとしっかりと議論している学校があったことが印象に残りました。例えば「誰もが」といったときに、学校の中の子供たちがということを中心に考える学校もあれば、学校に関わる人、地域の方も含めて考える生徒たちもいましたし、それに加えてさらに障害のある方もとか、インクルーシブなところを踏まえて語っている子供たちもいました。そこに至るまで学校全体で体育館に集まって議論を重ねてきた学校もあれば、委員会が中心となる場所もあって、その積み上げ方も様々でしたが、そこをしっかりと議論しているということはすばらしいと思いました。

2つ目に気付いたこととして、やはり挨拶が大事だねという結論になるところが多かったのですが、挨拶だけではいじめはなくなるよなところまで議論を深めていたところもあったのが印象に残りました。そもそも挨拶はなぜいじめ防止というところにつながるのだろうかということとしっかりと考えている学校につきましては、顔を合わせて声をかけるところで変化に気付けるからだろうということで深めている児童がいたのが印象に残っています。あとはさらに深めているところとしましては、実際にいじめをする側だけではなくて、傍観している人たちも実はすごく加担しているんだということに気付いて、アンケートを採って、結果的に自分がどのようにいじめに関わってしまったのかということの可視化している学校もありました。ただきれいごとで挨拶をしようとかいうところに止まらずに、しっかりその意味を考えたり、実際に自分もそこに関わっているのではないかと気付きにつなげるような深め方をしているというのはとても良いことだなと思いました。

そういった意味では、この横浜子ども会議はすごく大事な会だなと思いますけれども、何年も重ねてきたこともありますので、この会議の目的と効果をしっかりと整理して、小中の連携にもつなげたり、いじめをなくしていこうということにつなげたり、幾つかの効果があると思います。いじめをなくそうということを主題に置かならば、本当にそれにつながる議論になっているかということをもう一回しっかりと確認する必要もあるのかなとも感じましたので、来年度に向けて、

そこの目的の整理は必要かもしれないと感じました。以上です。

鯉淵教育長

よろしいでしょうか。

大場委員

大場です。一つだけ。子ども会議と直接関連がないのでしゃべってはいけません。夏休み明けの子供たちの登校ということについていろいろ関係方面から心配をいただいている事実が多いこの時期ですから。ちょうど8月下旬に西区の第4地区という野毛山公園の裏側の地域で、夏休み中15回にわたって「みんなの食堂」が実施されました。民生委員や更生保護女性会や町内会の方も加わって、子供たちは100円で大人は300円、一本松小学校の調理室を活用して実施しているということで、その最終回に私も行かせてもらいました。大変多くの子供たちが来ていて、子供は1食100円で、目の前でどんどんカレーライスのおかわりをして、すごい食欲だなと思いました。夏は15回こうやって、一本松小学校だけではありませんが、地域のいろいろな町内会館等で開いています。それから、すごいなと思ったのは、冬休みも年末年始の休業中にお雑煮や年越しそばを振る舞ったり、春休みもやはり同じように何回かに分けて地域の力を結集しています。地域の人たちからすれば、今回、台風被害がありましたけれども、震災の大きな被害があって地域で炊き出しをするときに、1日に100食を作るという経験を我々がノウハウとして持つておくのは、言葉は悪いですが非常に好都合でもあって、地域の力を結集する上では非常に大きな機会だったということを言われました。本当に頭の下がる思いで、私も1食だけ300円を払って食べてきました。

そんな中で、一本松小学校は体育館が地下というか、学校が傾斜地に建っているがために、地域の人が利用する調理室のフロアと2層か3層ぐらいフロアが違います。地域活動の核としてこれから学校をいろいろな機会、避難場所等で使うこともあるし、地域の人を使う中で、去年もお願いして、簡単に進まないのは分かっているのですが、体育館の冷房化ということも、いざというときの避難場所としては必要なことです。今回、特に一本松小学校はエレベーターがないことが地域活動を進める上で非常に大きな課題になっているということを聞きました。所管は上野施設部長になるかと思います。当然、車椅子等の当該児童がいる学校をまず優先的にエレベーターの設置をしていきたいと思いますという、その方針はもちろん分かりますが、一方で地域活動の拠点として、まさに地域で学校を支えてくれているところについては、やはり別の視点からぜひ早期に設置してもらうことはできないのかなということ、その場で強く私も要請を受けましたので、そんな思いをこの場で伝えさせていただきました。以上です。

鯉淵教育長

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは次に、第7回アフリカ開発会議（T I C A D 7）横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について、所管課から御報告いたします。

直井学校教育
企画部長

おはようございます。学校教育企画部長の直井でございます。それでは、今ありました第7回アフリカ開発会議開催に関連した小中学校の取組について、御報告させていただきます。詳細につきましては、所管課長より御報告させていただきます。

石川小中学校
企画課長

小中学校企画課長の石川でございます。お手元にお配りしております「第7回アフリカ開発会議（T I C A D 7）横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について」という資料を御覧ください。第7回アフリカ開発会議の横浜開催に伴

い、これまで小中学校では「アフリカとの一校一国」という取組を行ってきました。8月28日から8月30日にアフリカ開発会議が開催され、これに関連してこの間、小中学校においても様々な取組を行いましたので、御報告させていただきます。

まず、これまでのアフリカとの一校一国の取組について、御紹介させていただきます。資料の「1『アフリカとの一校一国』について」を御覧ください。市内小中学校がアフリカの一国を交流国と定めて交流を行うことにより、アフリカ各国への理解を深め、交流を進めることを目的として、アフリカ開発会議の初の横浜開催を契機として開始しました。今回、アフリカとの一校一国の取組は、第7回アフリカ開発会議の横浜開催を契機としまして実施されたものでございます。第4回、第5回の会議に続いて3回目の実施となります。今回は、前回の取組から11校増えまして、小学校68校、中学校11校、義務教育学校1校の合計80校と、アフリカ各国の在京大使館設置国のうち34カ国が参加し、交流を行いました。

具体的な交流活動の例といたしましては、ある学校では交流する国の大使等、関係者に学校に来ていただき、その国の学校などの生活・文化を紹介したり、子供たちと一緒に給食を食べたりして、子供たちが直接触れ合える交流を行っております。また、ある学校では、給食で交流国の郷土料理を再現し、それを食べることで食文化に触れ、国際理解につなげてもらう交流を行っております。さらにある学校では、大きな一枚の絵画を交流国の学校と本市の学校が共同で作成する活動で、インターネットを通じてテーマを話し合い、作業を分担して絵画を完成させていくという交流を行いました。子供の顔が写っているので配付資料には掲載しておりませんが、こちらにそれに取り組んだ子供たちと完成した絵画の写真がでございます。委員の皆様方には回覧させていただきます。

続きまして、今回のアフリカ開発会議に関連した取組を御報告させていただきます。資料の「2 第7回アフリカ開発会議横浜市関連プログラムへの小中学校の参加について」を御覧ください。今回のアフリカ開発会議が開催されている間、市内では国際局を中心に様々な取組が行われました。アフリカとの一校一国の参加校もこれらのプログラムに協力して、現地の方々との交流を行いましたので、御紹介させていただきます。そちらの資料にありますように、ここでは4つの取組を紹介させていただきます。

まず左上は、8月27日、会議開催前日にコートジボワール共和国のアマドゥ・ゴン・クリバリ首相を横浜市会にお招きし、本会議場で演説をしていただいたものになります。こちらに際して、コートジボワール共和国との交流を行っている港南区の桜岡小学校の児童が演説を傍聴するとともに、代表児童が首相に花束を贈呈いたしました。首相の演説の中でも桜岡小学校との交流について触れていただき、とても良い交流となっていると述べていただきました。市役所からのお見送りの際には、児童一人ひとりと首相が握手をしてくださり、子供たちにとって貴重な体験となりました。

次に右上は、都筑区の茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国の学校との交流児童画展の作品約800点を、サイドイベントであります「アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ」という展示会があるのですが、そこに出品したものです。この交流児童画展は、茅ヶ崎小学校の児童が描いた日本の生活などをテーマにした絵を、ボツワナ共和国の学校などで展示し、また、ボツワナ共和国の児童が描いた絵を都筑区役所などで展示するというもので、平成26年から毎年実施しております。今回は、これまでの作品約800枚をパシフィコ横浜の展示ホールで、8月27日から30日にかけて行われたサイドイベントで展示いたしました。

次に左下でございます。こちらは西区の戸部小学校の児童約40人が、8月28日

の会議当日に会議にいらっしゃるアフリカ各国の首脳を、パシフィコ横浜の国際会議センターの前でお迎えしたものでございます。当日はボーイスカウトの子供たちとともに「ようこそ横浜へ」と書いた横断幕、それからアフリカ各国の国旗を手に持って子供たちが、いらっしゃる方々に対して元気よく「Hello」ですとか「Welcome to Yokohama」ですとか呼びかけて、それぞれの首脳の方々は自分の国の国旗を見つけると大変うれしそうにされて、子供たちと記念撮影をしている方もいらっしゃいました。

最後に右下でございます。これは8月31日に行われた第3回野口英世アフリカ賞の受賞者歓迎式典でございます。同賞を受賞されたジャン＝ジャック・ムエンベ＝タムフム博士と、フランシス・ジャーバス・オマスワ博士及びその御家族に対して、金沢区の文庫小学校特別音楽クラブが歓迎の演奏を行ったものとなります。演奏後には児童から受賞された博士に対して質問することができ、子供たちは大変貴重な経験をすることができました。報告は以上でございます。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御質問等はございますか。

森委員

御説明ありがとうございます。とても興味深かったのが、1つ目のアフリカとの一校一国についての四角の中に入っている、一枚の絵画を現地の交流校と送り合い共同で作成したというところです。先ほどインターネットを通して共同でおっしゃっていましたが、そういった実際につなげて作るということが今できているのかなと思って、大変興味深く聞きました。もう少し具体的にどういう状況で一緒に作ったのか、分かる範囲で構わないので教えていただけますでしょうか。

加納小中学校
企画課国際担
当係長

国際担当係長の加納と申します。よろしく願いいたします。今、御質問いただきました一枚の絵画の共同作成は、ジャパンアートマイルという団体が実施しておりますアートマイルプロジェクトに参加しました。この学校が団体からタブレットをお借りして、現地の学校とインターネット電話を通じてやりとりしながらテーマ等を決めていって、約半年かけて絵画を作成するというプロジェクトです。それによってできましたものが、先ほど回覧させていただきました一枚の大きな絵画となっております。

森委員

そのインターネット会議というのは、こちらは日本語で、通訳をしながらということですか。

加納小中学校
企画課国際担
当係長

元青年海外協力隊として派遣されていた教員がたまたまこの学校におりました。あと、現地の学校でも青年海外協力隊の方が学校とのやりとりをしてくださいます。その方と適宜通訳を介しながら、あとは簡単な英語でやりとりをしながらという形になっております。

森委員

ありがとうございます。それはすごく興味深いですし、これからのいろいろな教育のあり方の一つの方向性を示していると思います。いろいろなことを経験されてきた教員の方がたまたまいらっちゃったということですがけれども、その方の強みが活かされてということと、あと実際に社会に出ると、今はどのビジネスの界隈でもインターネットで世界の裏側とつながりながら一緒にものを作るということを当たり前のように日々やっていますし、それが加速しているので、そういったことを小学校の頃から実際に体験して、当たり前のようにそれをやれる状

態を作っていくということはすごく大事なことだと思っています。

あと加えて、ジャパンアートマイルという他団体と連携して、そことどうつながったのかということも気になりますが、そうやって自分たちの学校内だけではなくて、そこと連携してやるということで、こんなことも可能になるということはずばらしいことだと思います。そのためには、恐らくICT環境のさらなる整備と、途切れずインターネットがつながるとか、本当に今はその次元かもしれませんが、そこがより加速していく必要もあるでしょうし、こういった他団体との連携をもっと後押ししていくことで、子供たちにチャンスと、当たり前を疑わせるようなことができるのではないかと思います。海外の子供たちとか海外の学校環境と直接つながることで、ものすごく発想を得ることができると思うので、そういったことがさらに広がると良いなと思いました。いい事例の紹介をありがとうございます。

鯉淵教育長

ほかに何かありますか。

間野委員

私も一校一國運動は素晴らしい取組だと思っています。多分元々は1998年の長野オリンピックのときに長野市内の小中学校が参加国を応援するというので、これが非常に素晴らしい取組で、その後の全てのオリンピックに継承されています。来年の2020年、東京オリンピック・パラリンピックがあるわけですが、この取組をぜひ継続していただきたい。オリンピックの場面でも、せっかく一校一國を決めたので、その国のオリンピックやパラリンピックの選手を応援するようなつながりを持たりたいのではないかと。オリンピックは206の国と地域が参加しているのですが、70地域ぐらいいはメダルが今まで一個もありません。金・銀・銅いずれもありません。でも、それでもみんなが参加してきて、その多くは実はアフリカです。アフリカのそういう国を、メダルは取れないかもしれないけれども、一生懸命応援していくというようなことも、僕は子供たちにとってとても大切な機会だと思っています。

ちょうど6年前ですか、2013年9月7日にブエノスアイレスのIOC総会で、ジャック・ロゲ会長が「TOKYO」とやってみんなで狂喜乱舞したわけですが、あのときも「おもてなし」と言って、本当のおもてなしとは何なのかというと、多分我々はホストで、来てくれたゲストにどう喜んでもらうのか。来られない人もアフリカにはたくさんいますが、もし応援して、アフリカのメダルが一個もない国がメダルを取れたら、子供たちにとってもものすごい印象的な機会になりますし、相手の国の人たちにとっても、そんな学校が応援してくれたとか、横浜が応援してくれたというのはすごく好印象を持ってもらえると思います。そういう意味での友好関係を作るということで言うと、無形のレガシーをアフリカの国にきちんと残していくような取組にも僕はつながると思っています。実際、市民局のスポーツ担当がやっているのですが、その方々からも直井部長を初め、学校教育企画部はすごくよくやってくださっているということを知っていますので、ここを中心にして、もっと来年に広げていくようなことができたらいいなと思っています。

加えて言うと、来週からラグビーワールドカップが始まります。南アフリカを応援している一校一國があると思うので、ここからオリンピックまでつなげていくような取組にさせていただいたら、ちょうどいい絶好の機会が来ていますから、ぴたっと重なってラグビーワールドカップとオリンピック・パラリンピックと、そこまで続けて広げていただけたらいいなと思いました。以上です。

鯉淵教育長	ほかにかがでしょうか。
中村委員	ありがとうございます。アフリカは子供たちにとっては身近に感じる国ではないので、こういう交流ができるのはとてもいいなと思います。一つお伺いしたいのですが、とてもいい交流ができていますのですけれども、例えばこれをきっかけにして何か継続して交流があるとか、あるいは総合的な学習の時間で調べているとか、そういう例はあるのでしょうか。
加納小中学校 企画課国際担 当係長	国際担当係長の加納でございます。先ほど御紹介いたしました都筑区の茅ヶ崎小学校のボツワナとの交流も前回のT I C A Dをきっかけに開催されまして、継続して行われているものになります。また、今回の一校一国につきましても、前回の一校一国の参加校を基本としておりますので、継続しております。
中村委員	ありがとうございます。こういう交流の場面だと、どちらかというとき晴れやかだととてもきれいなとか、いい場面なのだと思いますけれども、今、横浜の学校もSDGsとかいろいろ取り組んでいる中で、それはアフリカだけに限ったことではありませんが、アフリカという言葉一つとってもいろいろな意味合いがあると思うので、できたら打ち上げ花火的に終わってしまうのではなく、またより深く知るというきっかけになるといいなと思いました。以上です。
鯉淵教育長	ほかに。
宮内委員	皆様方がおっしゃったように、アフリカと日本の距離をもっと縮める努力をしたいと思います。よくこの場でも横浜らしい教育とは何ぞやという議論がされますが、横浜はこういう会議に協賛するチャンスに恵まれた都市です。この環境を最大限に利用して、子供たち、若い人たちが世界の現状、必ずしも平和的でない実情に接する機会を提供すべきと思っております。今、中村さんがおっしゃったようなSDGsを切り口として物事を考えていくいい機会です。世界の人口は今世紀半ばには今の75億人から100億人になりますが、その伸びの多くの部分をアフリカが占めております。そこで起きていることは食糧不足であったり紛争であります。先般、給食の御飯を炊くところにネズミの死骸が落ちていたということで、御飯を全部捨ててしまうことが是とされておりましたが、私はああいうことはいい教育材料になると申し上げております。食糧というのは一体どれだけ大事なもののなのかと考えさせるべきです。環境を守るのはどれだけ大変なのかということを考える教材になります。いずれにしろ、横浜という恵まれた地域で、こういう国際的な催し物との接点を得ることは特権であります。その特権をできるだけ児童生徒に生かせるよう、配慮していきたいと考えております。以上です。
鯉淵教育長	よろしいでしょうか。
	それでは次に、いじめ防止対策推進法第28条第1項にかかる重大事態への対処について、所管課から御報告いたします。
前田人権健康 教育部長	人権健康教育部の前田でございます。いじめ防止対策推進法第28条第1項にかかる重大事態への対処につきまして、新たに調査主体を決定して調査を行います。説明は所管の兵頭より申し上げます。
兵頭人権教	人権教育・児童生徒課担当課長の兵頭です。いじめ防止対策推進法第28条第1

育・児童生徒課担当課長	<p>項にかかる重大事態への対処について、調査主体を決定し調査を行いますので、御報告いたします。</p> <p>まず調査主体について、教育長委任事務といたしまして1件の調査主体を決定いたしました。本件は事案の特性などを踏まえ、学校いじめ防止対策委員会に専門的知識を有する第三者及び教育委員会事務局職員を加えた学校主体の組織で調査を行います。</p> <p>次に、いじめ重大事態対処のための調査件数ですが、今回新たに調査を行うのは中学校の案件です。現在、いじめ重大事態の調査中の件数としては、これで8件となります。説明は以上です。</p>
鯉淵教育長	<p>説明が終了しましたが、何か御質問等はございますか。</p>
中村委員	<p>ありがとうございました。直接これとは関わりなく、今朝ラジオで聞いたことなのでどこまで本当なのかどうか定かではありませんが、子供が訴えたけれども学校も委員会も取り上げてくれなかったと。その中で、ようやく第三者委員会を立ち上げたけれども、それを保護者の方に知らせなかったと。それから、御本人からもトラウマというかフラッシュバックしてはいけないということで聴き取りをしなかったというような報道がありましたが、現実的に横浜でそういうことがあり得る、あるいは今までもあったのでしょうか。</p>
兵頭人権教育・児童生徒課担当課長	<p>まず、重大事態調査になるということで、調査主体も含めて国からは丁寧に説明をするようにという通知等も出ておりますので、我々で調査を進める、若しくはその前段階でも、いじめを受けた児童生徒さん側には今後の方針をきちんと説明して、もし調査となればどういう方法で調査するかというのは必ず説明しております。聴き取りについては、基本的には調査主体のほうで決めていくこととなりますけれども、やはりいじめを訴えている側の想いは最初に聴き取りすることがほとんどになります。状況に応じて、打診したけれども状態が思わしくなくて現状での聴き取りは難しいとか、そういう場合におきましては、時期を見ながら再度働きかけるなどして行っていく場合もあります。今まで行った中では、聴き取りをしようとしたけれども、フラッシュバックなどがあるのでやめてほしいという思いを受けて聴き取りをしなかった経緯もありますが、その場合には保護者の方からの聴き取りをするなどして、調査を進めていくということで対応を行っております。</p>
中村委員	<p>ケース・バイ・ケースで一概にこれがいいと言えないかもしれませんが、今のケースの場合は代理人の方が聴き取りをしないでくださいということで止めたらしいです。臆測で物を言って申し訳ありませんが、やはり調査を始めたということ伝えることは非常に大事なことですし、周りの客観的な話だけではなく、まずは御本人の話を聴くということが大事なことだと思いますので、状況に合わせてとは言いながら、他都市のことではありますけれども、横浜でそのようなことがないようにぜひお願いしたいと思います。</p>
鯉淵教育長	<p>ほかに何か。</p>
大場委員	<p>今回は調査に入るということなので、別にこのことについては異論はありませんから、よろしくお願ひしたいと思います。ちょうどさきほど子ども会議のことで、子供同士のSNSでのやりとりが今は一番深刻になっているという事例を聞</p>

いたので、正確な数字はお答えがなければいけないで結構ですが、今までの13件の終了した案件の中で、何が主たる起因というのはなかなか難しいですけれども、SNS絡みでのトラブルが端緒になってしまった事例が、私が全部もう一回自分で点検すればいいものの、多そうな気がしています。正確でなくてもいいと言うと変ですが、記憶の範囲で今、大体どのくらいだったか、お答えが可能だったらお願いしたいと思います。

兵頭 人権教育・児童生徒課担当課長

申し訳ないです。今、一件一件、事案を思い浮かべながら考えてはいますが、複合的な要素の一つとしてSNSが絡んでいた案件は、正確な数字は持ち合わせていませんけれども、数件はあったかと思えます。1件、2件のレベルではなく、やはり数件あったかと思えます。それだけではなくて、やはりそのほかのいじめも複合的に合わさって重大事態になっているというケースが、恐らく2、3件は少なくともあったかと思えます。

大場委員

すみません、突然質問してしまって。多分と言うと怒られてしましますが、多分小学生ではそんなにないのかなという気がするので、中学生の場合は特にこういうSNSでの、俗に言う仲間外れの話だったり、いろいろなケースが出てきそうな気がします。南区の子ども会議でも子供が言っていました、教科書は毎日見ないけれども、LINEは必ず毎日見ますと。やはり中学生になると、子供の世界に本当にSNSというかLINEというか、これが浸透しているのだなと私も再確認したつもりでした。またいろいろな事案が出てくると思うので、ぜひよろしくお願ひしたいと思えます。以上です。

鯉淵教育長

よろしいでしょうか。それでは、以上で報告を終了します。審議案件に入る前に、その他として。

森委員

昨日、台風があつて、こちらの方面を中心にいろいろな混乱があつたと思えますが、学校ですとか関連施設での被害状況を、現段階で分かる範囲で教えていただけたらと思っております。お願ひできますか。

福島総務部長

総務部長の福島です。昨日の台風15号の教育委員会所管施設の影響及びその被害について御報告申し上げます。まず、気象状況の発令状況でございますけれども、9月8日日曜日17時02分に大雨、暴風、波浪警報が発令されました。その後、20時42分に洪水警報が発令され、恐らく深夜もしくは未明に台風が上陸したものと思われまふ。9月9日月曜日、翌日ですが、8時16分に大雨警報のみ継続され、それ以外の警報については解除されております。

学校の対応ですけれども、横浜市学校防災計画に基づきまして、特別支援学校につきましては6時の時点で、また小、中、義務教育学校につきましては7時の時点で、暴風警報が発令中であつたため、全ての学校において一斉休校をしております。ただ、南高校及び附属中学校のみ文化祭の片付けの関係で、午後からの登校ということをしております。

それから、被害状況でございますけれども、昨日時点で報告があつたものとして、生徒児童に係る人的被害は今のところございません。物的被害でございますが、倒木が79件、雨漏り、あるいはフェンスの倒壊等が56件ございました。それから、学校ではございませんが、図書館につきましては、中図書館、南図書館については浸水等の被害で昨日は休館しております。また、中図書館については本日も休館しているという状況でございます。御報告は以上でございます。

鯉渕教育長 よろしいでしょうか。

森委員 ありがとうございます。

鯉渕教育長 次に、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開についてお諮りします。教委第23号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」、教委第24号議案「教職員の人事について」は、人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

鯉渕教育長 それでは、教委第23号議案、教委第24号議案は、非公開といたします。審議に入る前に、事務局から報告をお願いします。

齊藤総務課長 次回の教育委員会臨時会は、9月24日火曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、10月4日金曜日の午前10時から開催する予定です。

鯉渕教育長 皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は9月24日火曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は10月4日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第23号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」

(原案のとおり承認)

教委第24号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

鯉渕教育長 本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時10分]